

平成31年（2019年）3月期 第2四半期決算報告 (連結ベース)

2018年11月16日
東芝機械株式会社

東芝機械

(成形機、工作機械、その他)

国内製造販売会社 2社

(工作機械、その他) **不二精機製造所**
(その他) **東栄電機**

国内販売・サービス会社 他 3社

(成形機、その他) **東芝機械エンジニアリング**
(その他) **芝浦セムテック**
(その他) **芝浦産業**

赤い枠内は連結各社

(持分法適用会社) 1社

ニューフレアテクノロジー : 15.1%

(非連結子会社)

海外販売会社 7社
その他出資先 1社

海外製造会社 3社

(成形機)
TOSHIBA MACHINE (SHANGHAI) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PRIVATE LIMITED

海外販売・サービス会社 6社

(成形機、工作機械、その他)
SHANGHAI TOSHIBA MACHINE CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE COMPANY, AMERICA

(成形機、工作機械)
TOSHIBA MACHINE (THAILAND) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE SOUTH EAST ASIA PTE.LTD.

(成形機)

TOSHIBA MACHINE (SHENZHEN) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE HONG KONG LTD.

平成31年（2019年）3月期
第2四半期決算概要
(連結ベース)

業績サマリー

4

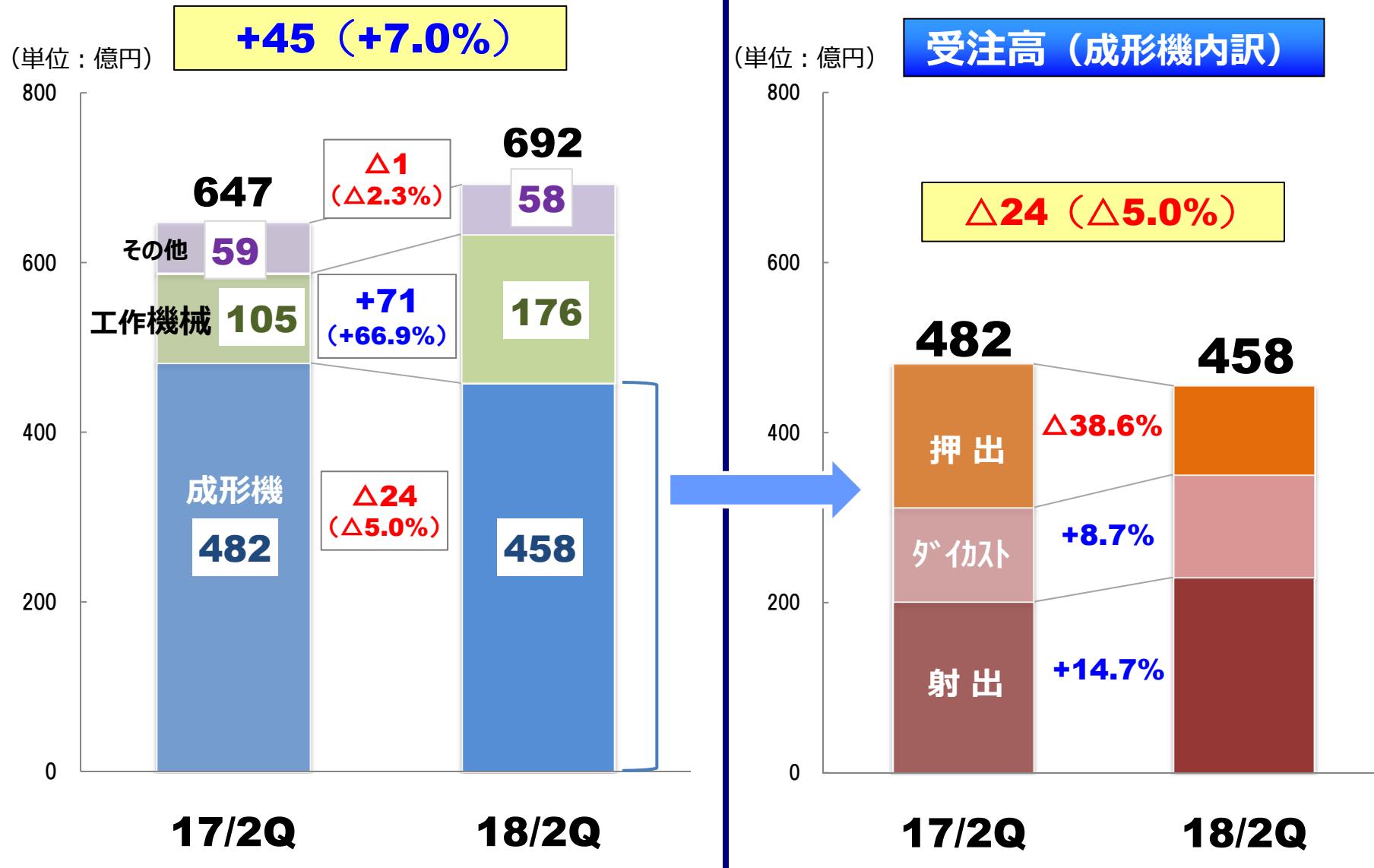
(単位: 億円)

	2018年度2Q (H30年度2Q)	2017年度2Q (H29年度2Q)	増 減	18/2Q 公表予想 (2018/5/9公表値)
売 上 高	595	561	+34	660
営 業 利 益	16 2.7%	18 3.1%	△ 2 △ 0.4%	28 4.2%
経 常 利 益	27 4.5%	38 6.9%	△ 11 △ 2.4%	31 4.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	19 3.3%	28 5.0%	△ 9 △ 1.7%	24 3.6%
受 注 高	692	647	+45	738
為替レート (USD)	114 円	113 円		108 円
ROE (純利益/自己資本)	4.7%	7.1%		
ROA (純利益/総資産)	2.6%	※ 3.9%		

※ 税効果会計基準の改正により遡及修正

受注高 (セグメント)

5



売上高 (セグメント)

6

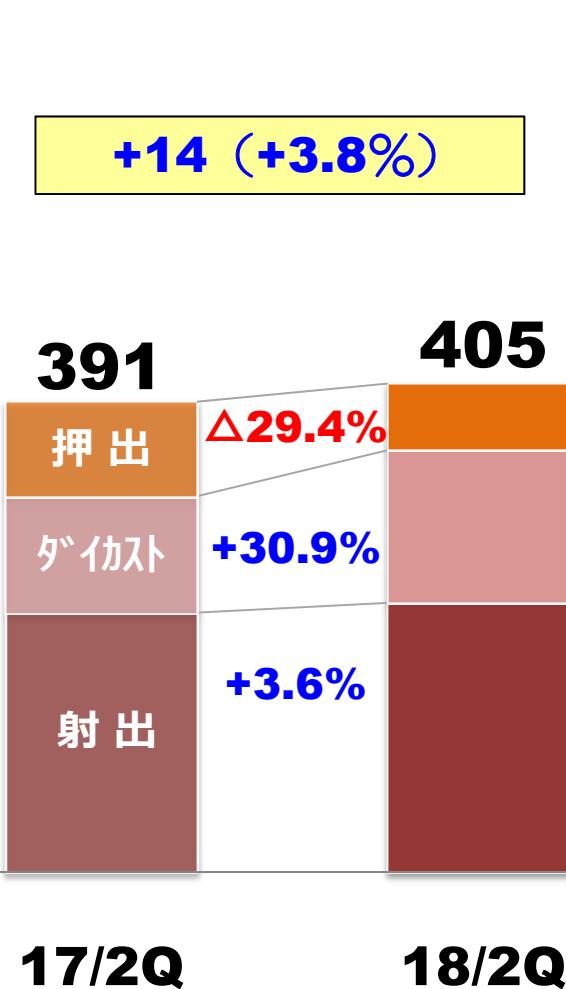
(単位：億円)
※連結消去後

+34 (+6.0%)



(単位：億円)
※連結消去後

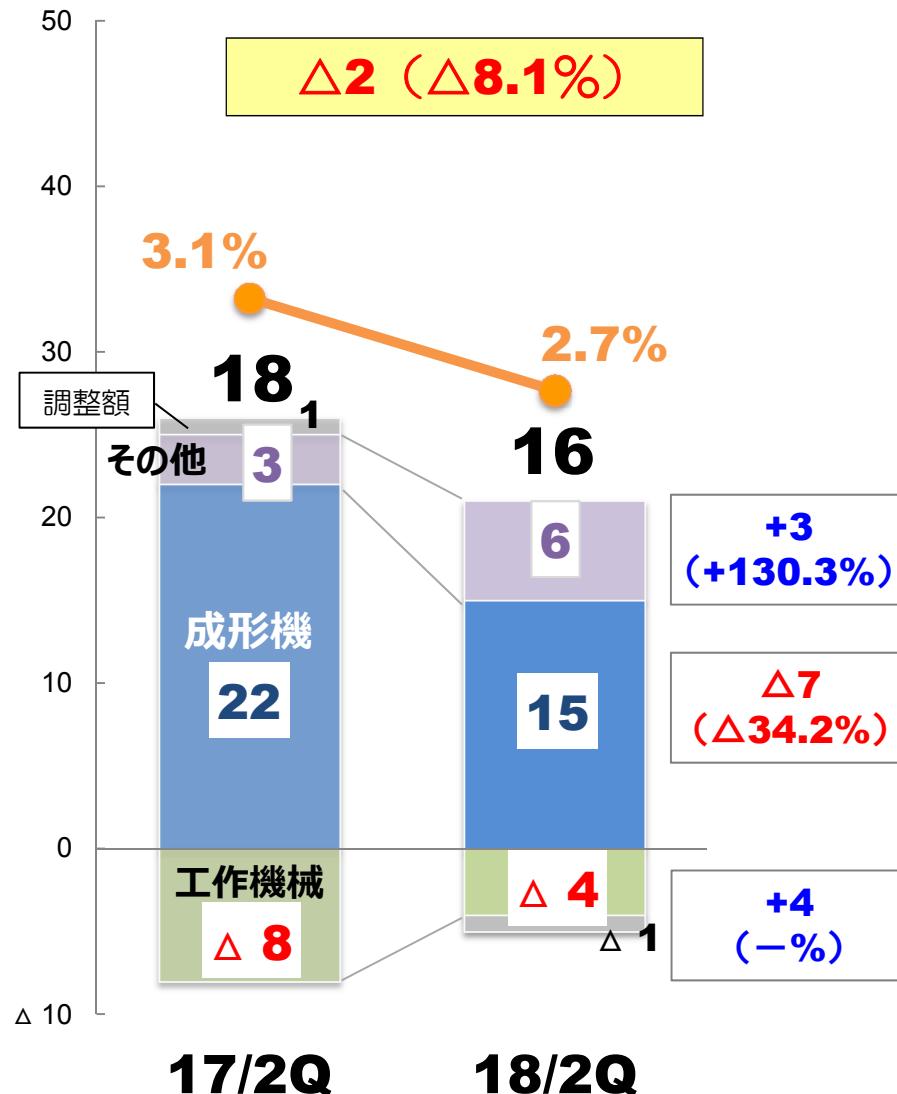
売上高 (成形機内訳)



営業利益 (セグメント)

(単位 : 億円)

※連結消去後



経常利益・四半期純利益

7

(単位 : 億円)

経常利益

△11 (△29.8%)

6.9%

38

27

4.5%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

△11

△29.8%

(成形機) セグメント業績

8

(単位: 億円)

(射出成形機・ダブルストラッサー・押出成形機など)

	2018/2Q (H30/2Q)	2017/2Q (H29/2Q)	増減額	増減率
売上高	405	391	+14	+3.8%
営業利益	15	22	△7	△34.2%
利益率	3.6%	5.7%	△2.1%	

2018年度2Q 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【射出】インドの自動車・家電業界向け好調
- 【DC】国内大手ダイカスター向け、中国・東南アジア向け堅調
- 【押出】光学フィルム向け需要拡大

-

ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米向け生産のタイ工場シフトに伴うコスト上昇
- 【射出】部材価格高騰および基幹部品長納期化に伴う生産効率悪化
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の納期調整が継続
- 貿易摩擦による輸出への悪影響

(単位: 億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2018/2Q (H30/2Q)	2017/2Q (H29/2Q)	増減額	増減率
売上高	132	117	+15	+12.4%
営業利益	△ 4	△ 8	+4	—
利益率	△ 2.8%	△ 6.5%	+3.7%	

2018年度2Q 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【大型】産業機械・半導体向け中心に好況
- 【大型】北米航空機・エネルギー関連向け需要復調
- 【精密】国内・中国中心に光学部品向け堅調



ネガティブ・ファクター

- 部材価格高騰および基幹部品長納期化に伴う生産効率悪化
- 貿易摩擦による輸出への悪影響

(単位: 億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2018/2Q (H30/2Q)	2017/2Q (H29/2Q)	増減額	増減率
売上高	73	68	+5	+7.1%
営業利益	6	3	+3	+130.3%
利益率	8.0%	3.7%	+4.3%	

2018年度2Q 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

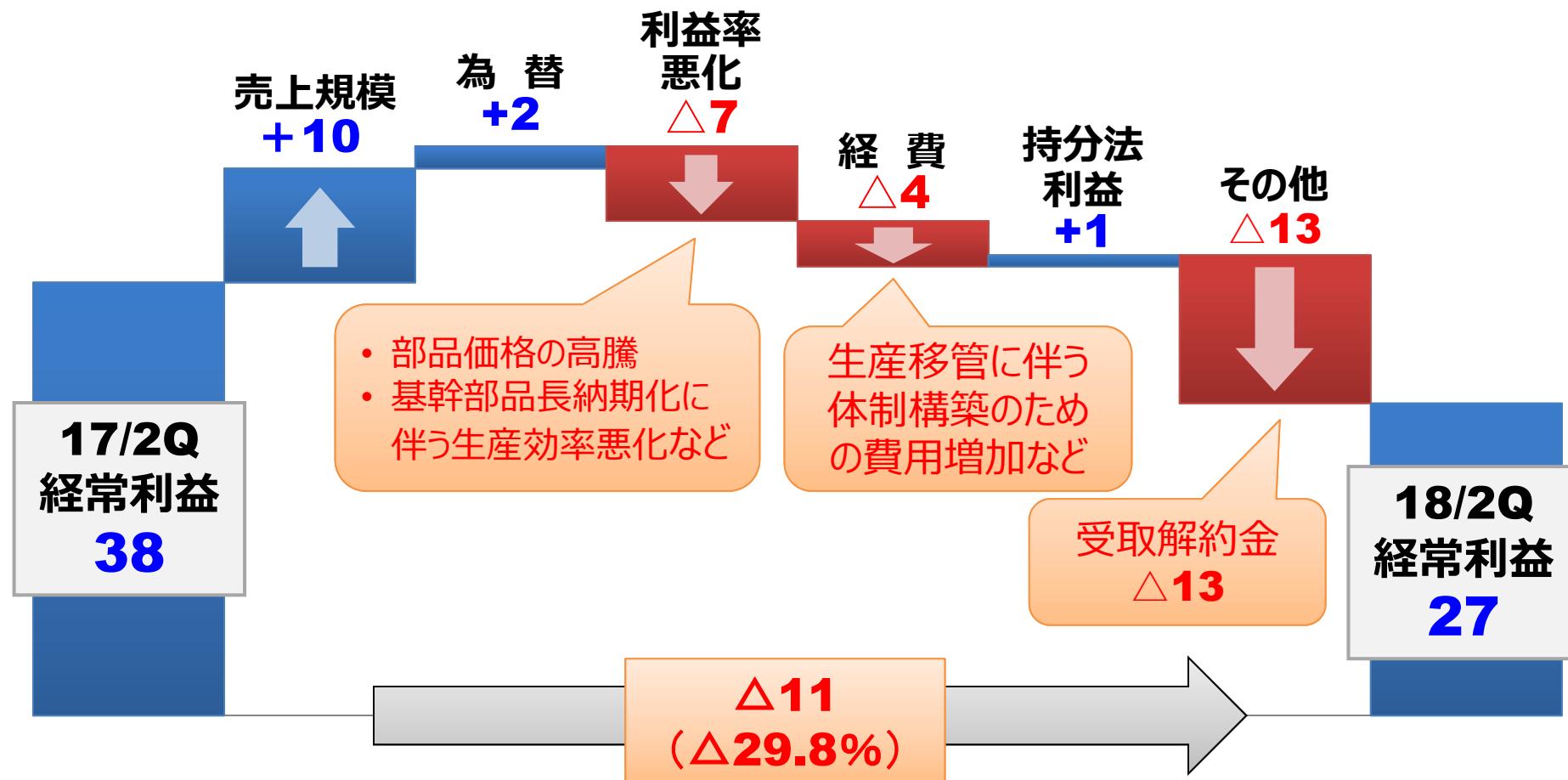
- 産業用ロボットの中国生産能力増強による供給体制強化
- 国内向けサーボモーターの販売好調



ネガティブ・ファクター

- 東アジアのスマートフォン・EMS向けロボット需要に停滞感
- 貿易摩擦による輸出への悪影響

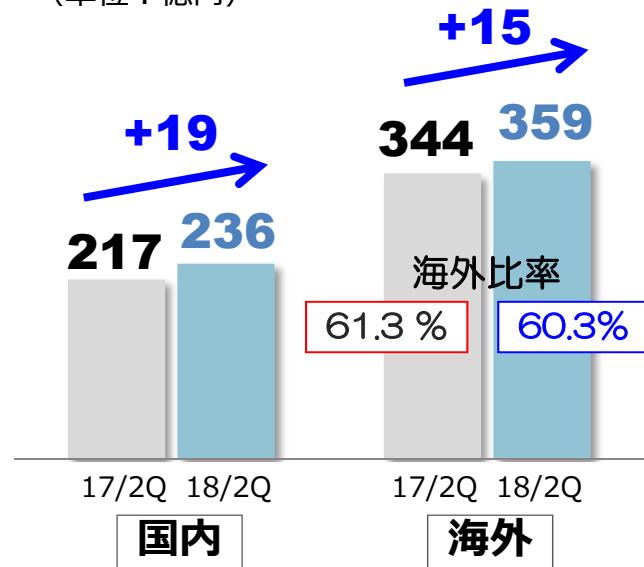
(単位: 億円)



国内・海外売上高（前年同期比較）

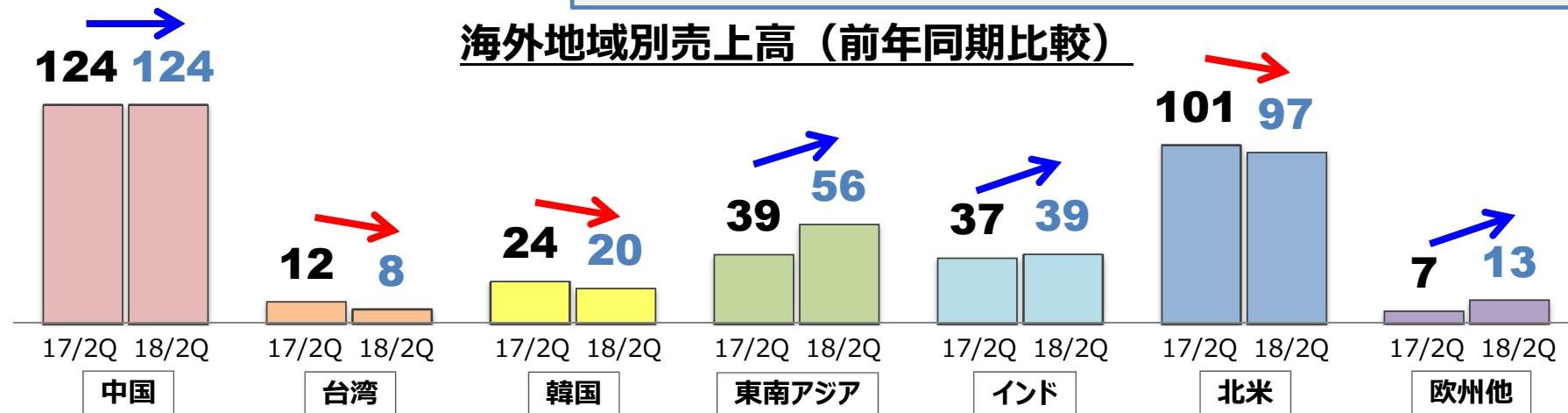
12

（単位：億円）



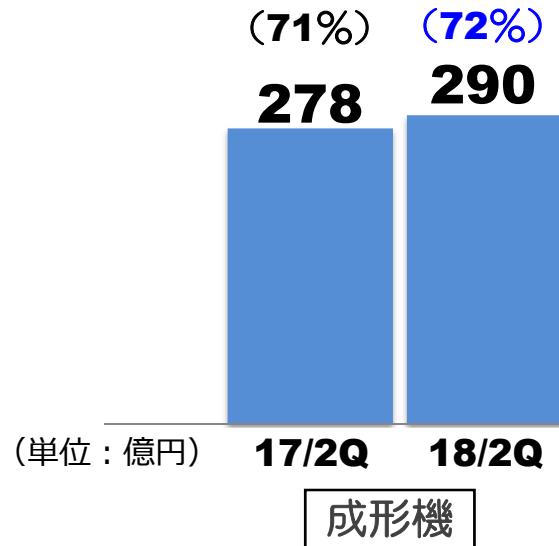
- 国 内 : 【射出】【DC】【工作】増加
 【押出】減少
- 中 国 : 【DC】【工作】増加
 【射出】【押出】減少
- 東 南 ア : 【射出】【DC】【工作】増加
- イ ン ド : 【射出】増加
- 北 米 : 【DC】増加
 【射出】【工作】減少

海外地域別売上高（前年同期比較）

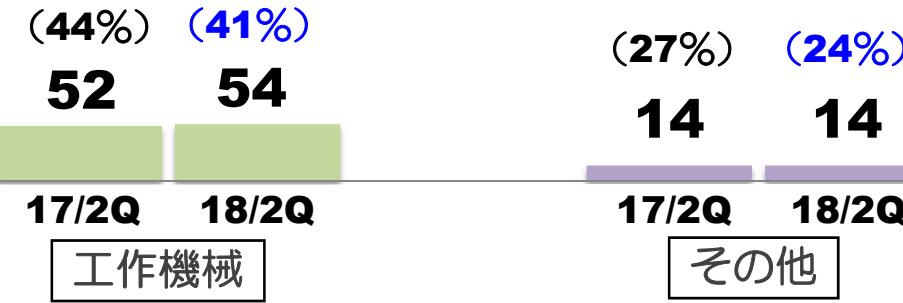


海外向けの売上高・比率 (セグメント別)

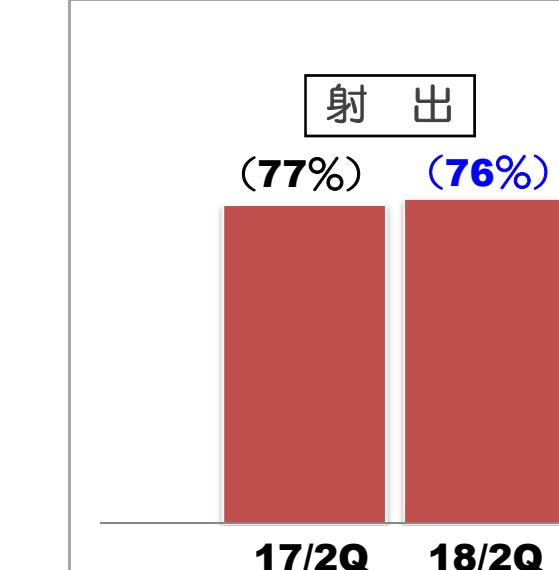
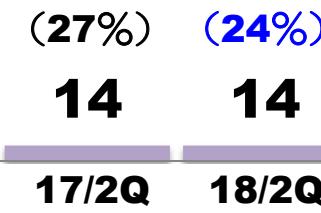
13



セグメント別 海外売上
(海外比率)



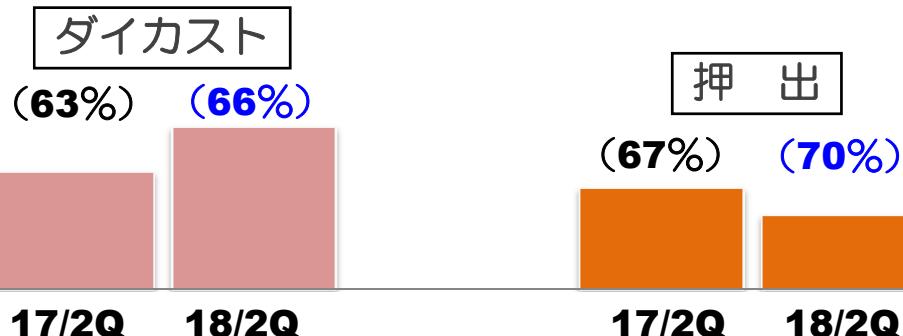
海外売上高比率
17/2Q : 61.3%
18/2Q : 60.3%



成形機 BU 別
(海外比率)

海外売上高比率
17/2Q : 71.1%
18/2Q : 71.6%

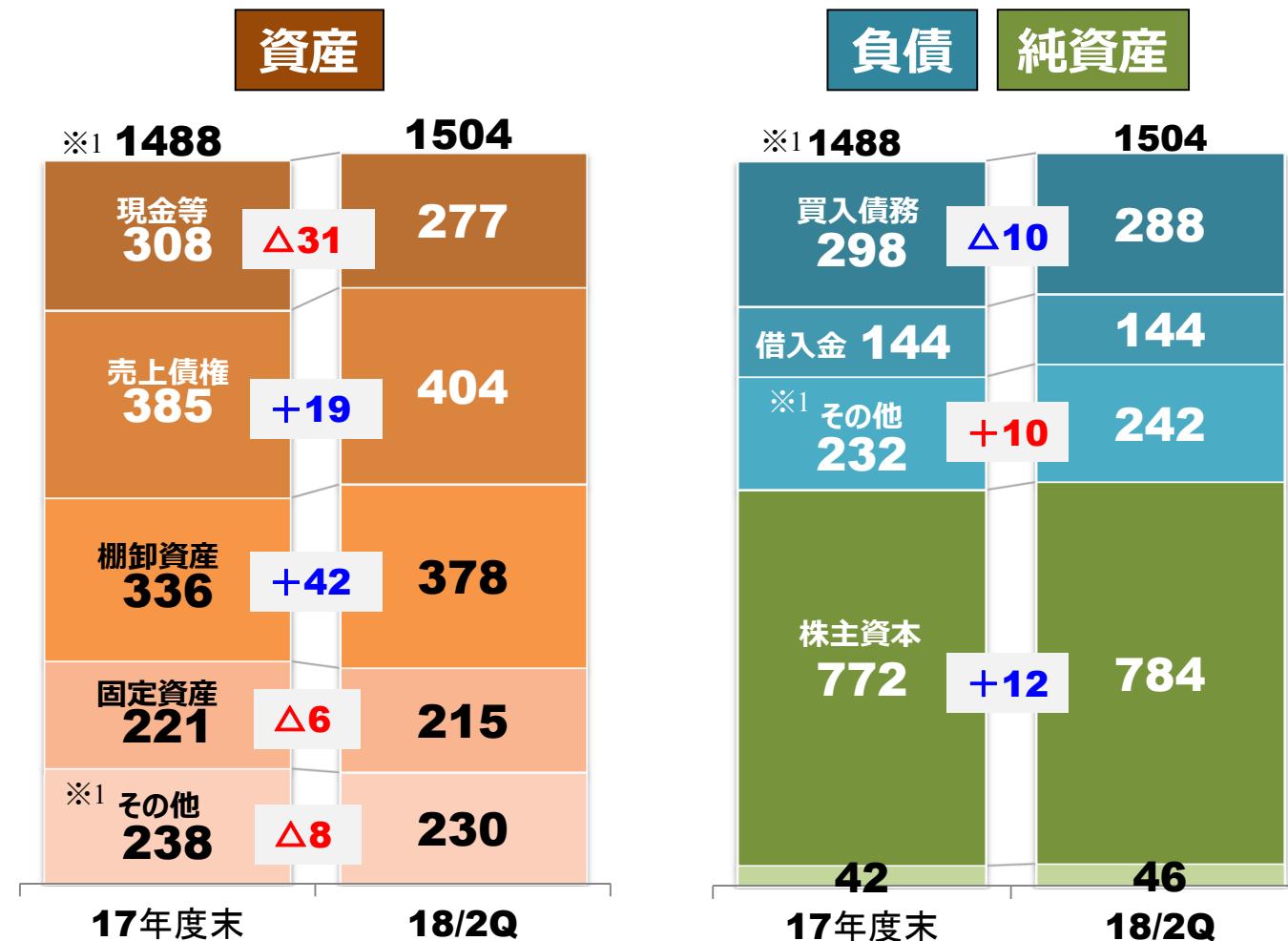
※棒グラフは金額



貸借対照表

14

(単位: 億円)



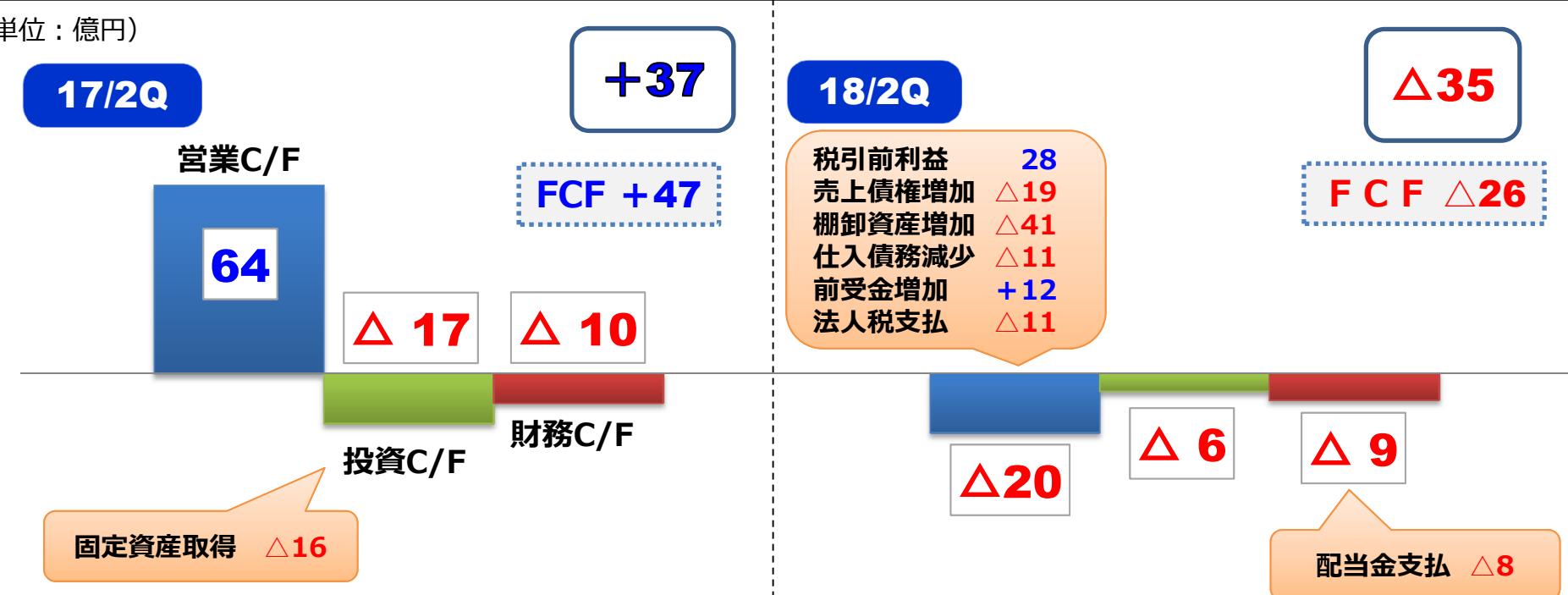
	18/3月末	18/9月末
自己資本比率	※1 54.7%	55.2%
D/E 比率	※1 17.7%	17.3%
総資本回転率 ※2	0.81 回転	0.79 回転

※1 税効果会計基準の改正により遡及修正
※2 期首・期末の平均を使用

キャッシュ・フロー計算書

15

(単位:億円)



	17/2Q	18/2Q
現金及び同等物 期首残高	301	308
営業活動によるC/F	64	△20
投資活動によるC/F	△17	△6
財務活動によるC/F	△10	△9
計	37	△35
換算差額 他	3	4
現金及び同等物 期末残高	341	277

中国押出成形機LiB向け大型ラインの納期調整等による棚卸資産増加の影響 △41

平成31年（2019年）3月期

業績予想（連結ベース）

配当予想

1. 取り巻く外部環境

項目	ポジティブ・ファクター	ネガティブ・ファクター
成形機セグメント		
射出成形機	自動車向けを中心にインドの需要堅調	北米・東南アジア向け受注が様子見状態
ダイカストマシン	国内・アジア地域の需要堅調	大型機受注残の減少
押出成形機	光学フィルム向けラインの需要拡大	中国EV需要の調整が下期まで継続の懸念
工作機械セグメント	国内好況が大型機へ波及 北米航空機・エネルギー向け復調 自動車・スマートフォン等光学需要伸長	国内重電・造船向け需要の回復遅れ 基幹部品調達の長納期化継続の懸念
全般	インド拠点統合により販売チャネル拡大 EV化潮流の需要が各セグメントへ波及	部材価格の高騰 基幹部品調達の長納期化継続の懸念 通商問題長期化による中国市況の不透明化

2. 概要

(1) 施策

- 事業収益性向上 : 原価低減諸施策の継続、環境の変化に柔軟に対応
 経営体质強化 : 国内外工場の効率化、海外現地法人含む拠点の強化
 ブランド力強化 : 市場ニーズにあった新商品の創出、独自ブランドの醸成

(2) 業績見込（前期比）

部材価格の高騰、前期営業外収益（受取解約金）の反動により**増収減益**

2018年度 業績サマリー

18

(単位: 億円)

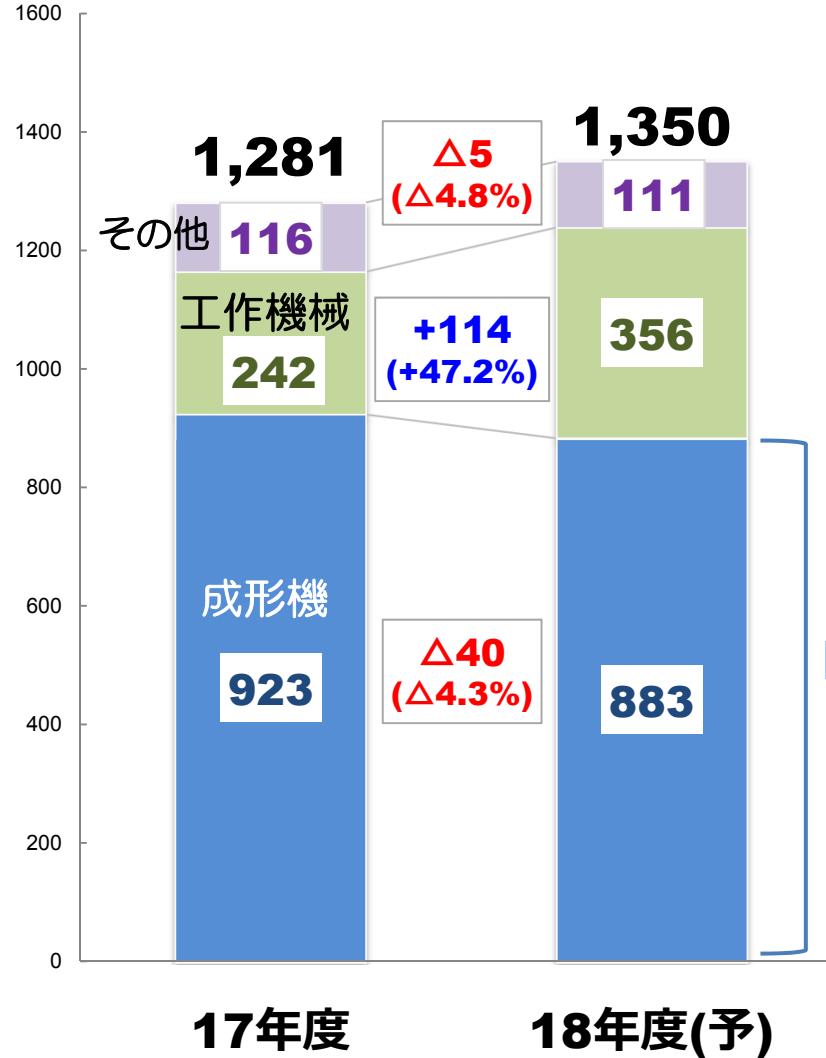
	2018年度 予 想	2017年度 実 績	増 減	2018年度予想 (2018/5/9公表値)
売 上 高	1,220	1,169	+51	1,350
営 業 利 益	40	46	△ 6	69
経 常 利 益	54	70	△ 16	77
親会社株主に帰属 する当期純利益	40	50	△ 10	57
受 注 高	1,350	1,281	+69	1,500
為替レート (USD)	108 円	106 円		108 円

受注高 (セグメント)

19

(単位: 億円)

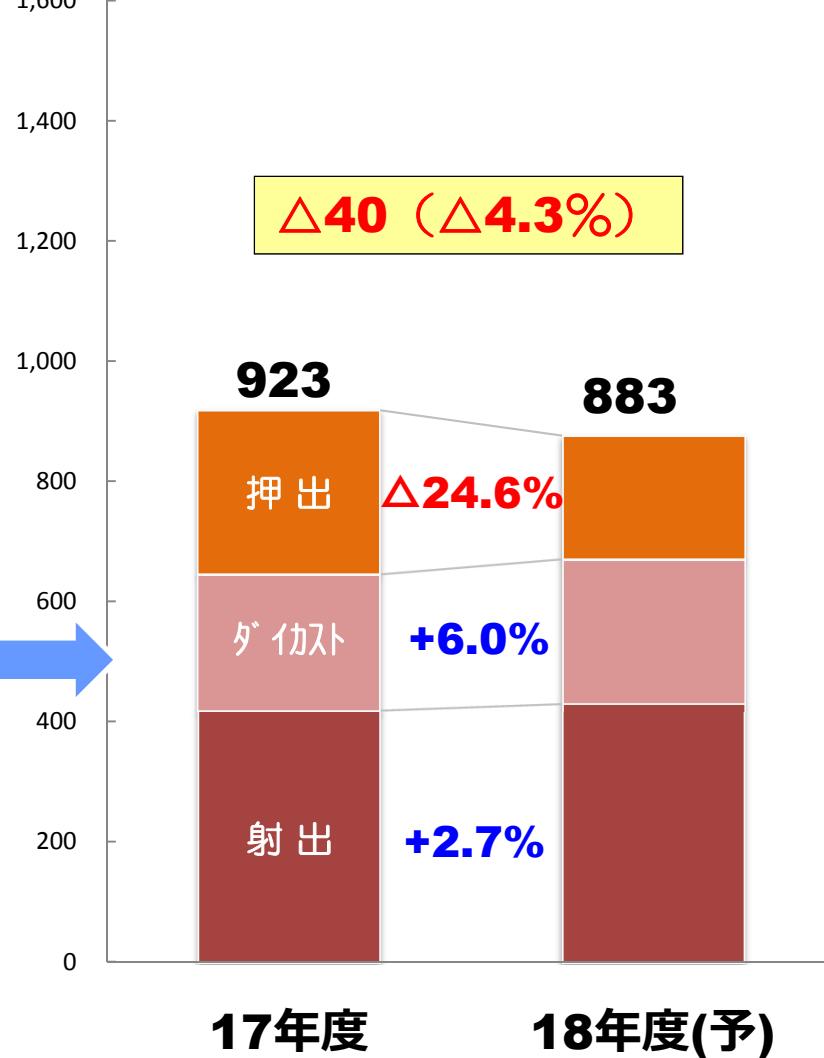
+69 (+5.4%)



(単位: 億円)

受注高 (成形機内訳)

△40 (△4.3%)

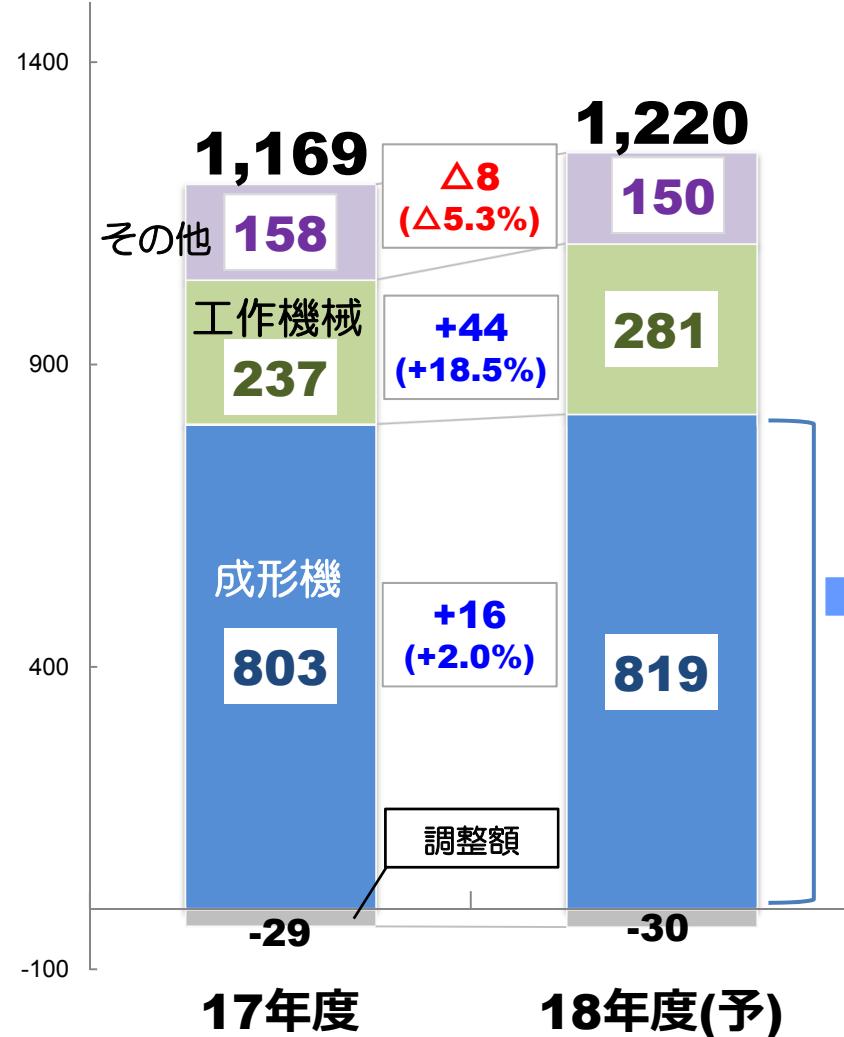


売上高 (セグメント)

20

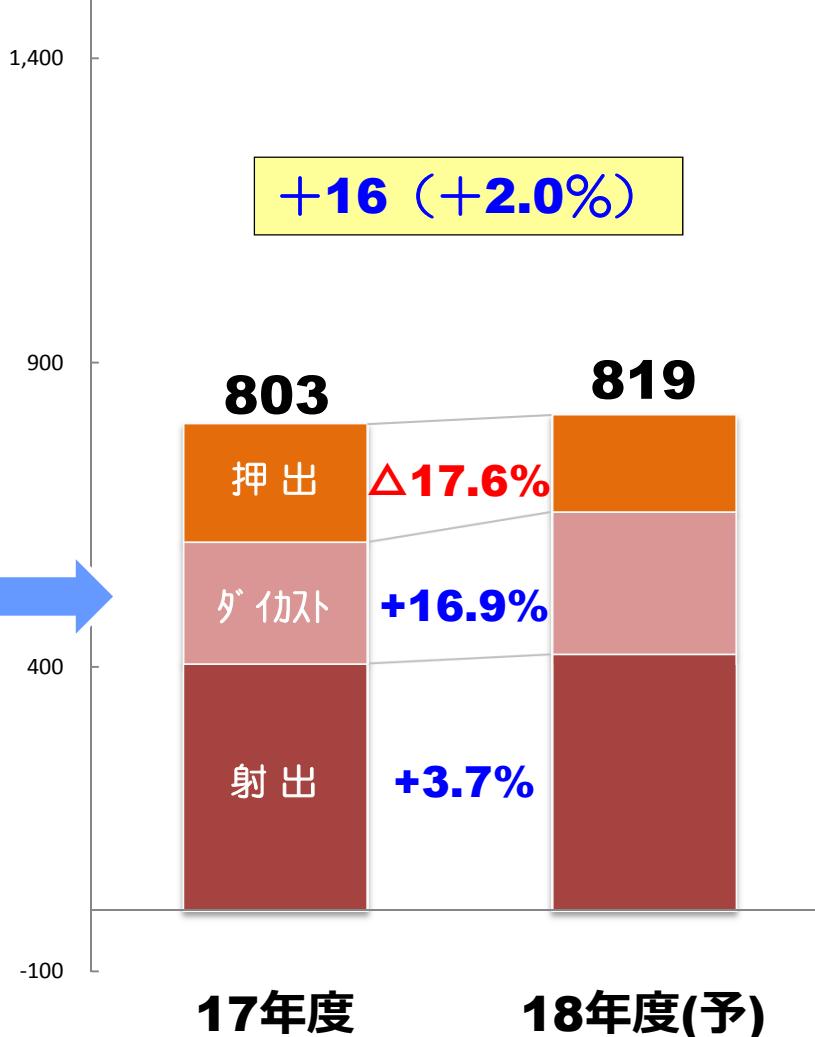
(単位：億円)
※連結消去後

+51 (+4.4 %)



(単位：億円)
※連結消去後

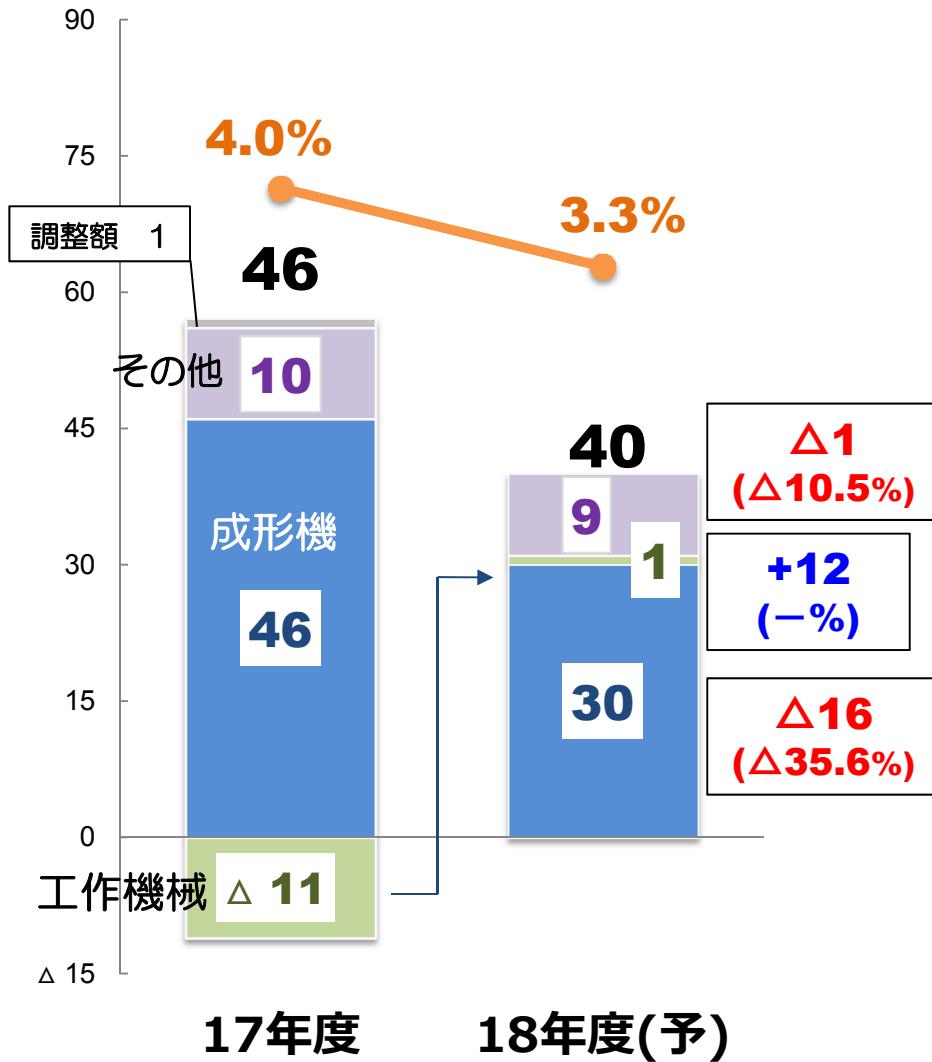
売上高 (成形機内訳)



営業利益 (セグメント)

(単位: 億円)
※連結消去後

△6 (△13.8 %)

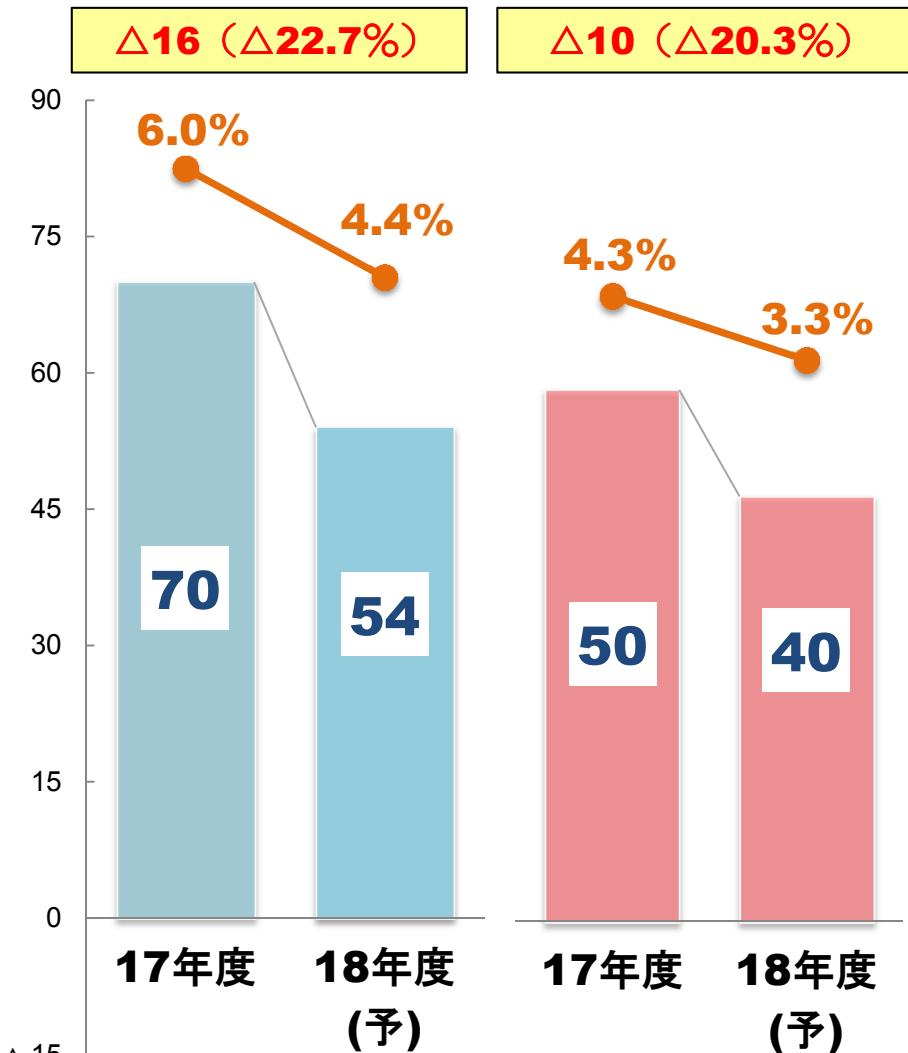


経常利益・当期純利益

21

経常利益

当期純利益



(単位: 億円)

(射出成形機・ダブルストラッサー・押出成形機など)

	2018年度 (H30年度)	2017年度 (H29年度)	増減額	増減率
売上高	819	803	+16	+2.0%
営業利益	30	46	△16	△35.6%
利益率	3.7%	5.8%	△2.1%	

2018年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【射出】インド販売好調・インド工場の生産能力拡大
- 【DC】国内大手向け需要堅調
- 【押出】光学フィルム向けラインの需要拡大



ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米向け生産のタイ工場シフトに伴うコスト上昇
- 【射出】部材価格上昇継続
- 【DC】大型機の受注残減少
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の納期調整が継続

(単位: 億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2018年度 (H30年度)	2017年度 (H29年度)	増減額	増減率
売上高	281	237	+44	+18.5%
営業利益	1	△ 11	+12	—
利益率	0.4%	△ 4.8%	+5.2%	—

2018年度 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【大型】好調な国内産業機械向け需要が大型機へ波及
- 【大型】北米航空機・エネルギー向け復調
- 【精密】自動車用光学金型向け需要の伸長
- 【精密】光学関連の堅調維持

-

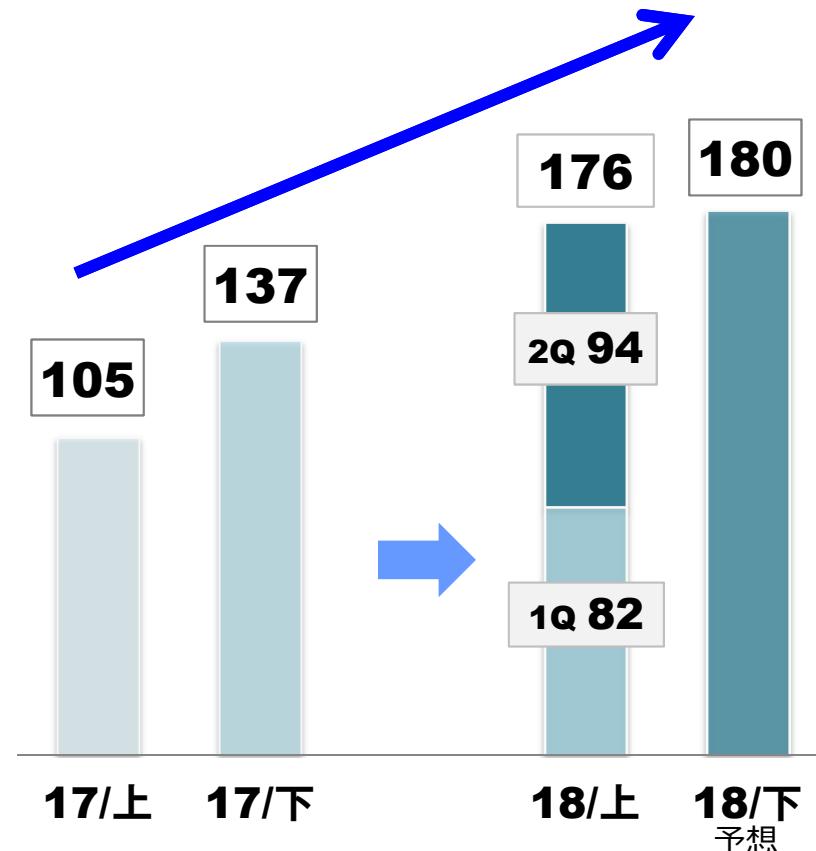
ネガティブ・ファクター

- 基幹部品調達の長納期化継続懸念
- 部材価格の上昇継続
- 中国市況の不透明化

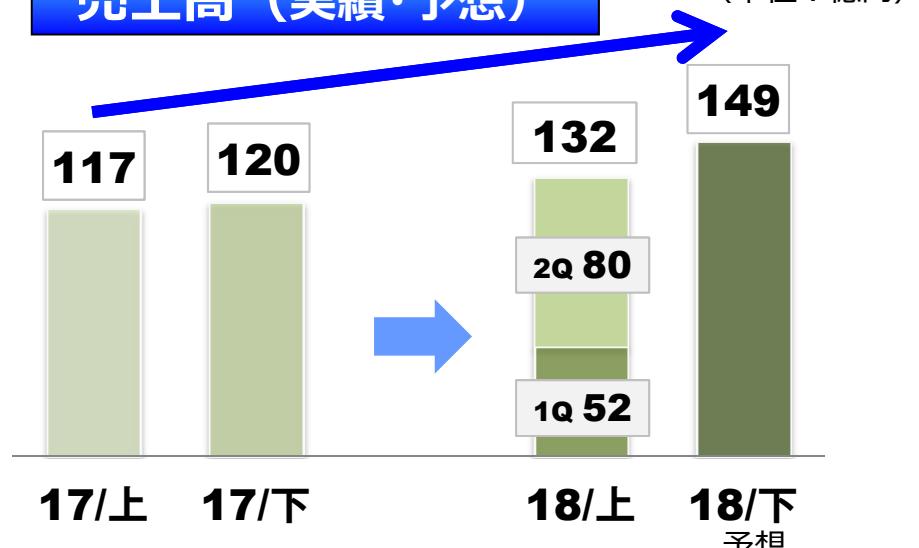
(工作機械) セグメント業績予想

24

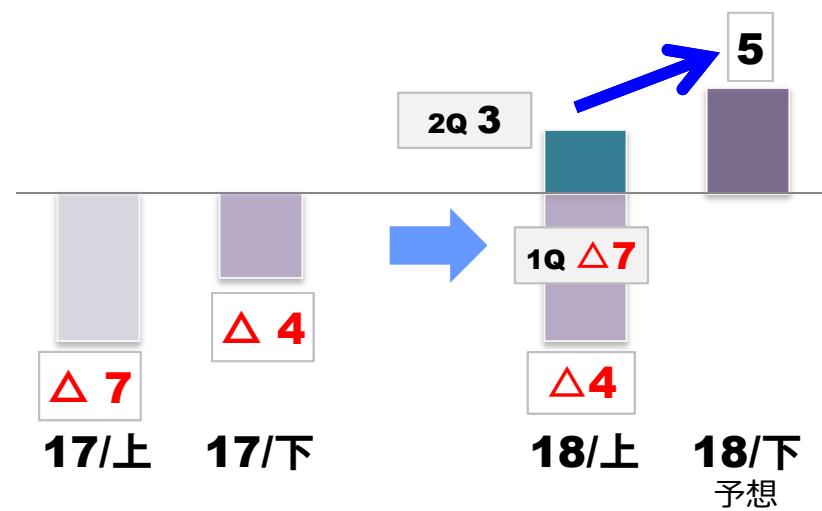
受注高 (実績・予想)



売上高 (実績・予想)



営業利益 (実績・見込)



(単位: 億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2018年度 (H30年度)	2017年度 (H29年度)	増減額	増減率
売上高	150	158	△ 8	△ 5.3%
営業利益	9	10	△ 1	△ 10.5%
利益率	6.0%	6.3%	△ 0.3%	

2018年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 産業用ロボットの中国生産能力増強による供給体制強化
- 国内向けサーボモーターの販売堅調
- IoT活用による商品ラインナップ拡充



ネガティブ・ファクター

- 東アジアのスマートフォン・EMS向け需要が調整局面

配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、財務体質を強化しつつ、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2017年3月期	6 円 00 錢	6 円 00 錢	12 円 00 錢	101.1%
2018年3月期	7 円 00 錢	7 円 00 錢	14 円 00 錢	33.7%
2019年3月期	7 円 50 錢	(予想)※1,2 37 円 50 錢	※2 —	45.3%

※1 平成30年10月1日に実施した株式併合の影響を考慮しております。

※2 株式併合考慮前に換算した期末配当（予想）は7円50銭、年間配当（予想）は15円00銭となります。

以 上

本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

東芝機械株式会社 総務部

TEL : 055-926-5141

FAX : 055-925-6501

URL : <http://www.toshiba-machine.co.jp>